

4社でコンソーシアムを結成しています。
現場の悩みに対して、
テクノロジーでの課題解決を進めています。



会社名	大阪エネルギーサービス株式会社 Osaka Energy Service Co., Ltd.
事業内容	冷温水、蒸気を利用した熱供給事業
設立	平成元(1989)年5月26日
株主	西日本旅客鉄道株式会社 / 大阪瓦斯株式会社 / 関西電力株式会社
資本金	8億4900万円
所在地	〒553-0003 大阪市福島区福島5丁目1-26 MF西梅田ビル6階
受賞歴	技術賞 建築設備部門(公益社団法人 空気調和・衛生工学会) 平成27年度省エネルギーセンター会長賞(一般財団法人 省エネルギーセンター) 第24回特別賞十年賞(公益社団法人 空気調和・衛生工学会)

まずは、お気軽にお問い合わせください。

☎ 06-6453-1815 平日 9:30~17:30
✉ info@o-es.co.jp

JR 西日本グループ OES 大阪エネルギーサービス

エネルギーサービス事業者から
「エネルギーソリューションベンダー」へ

熱源設備容量は 約2.5倍
管理人員の増員は ゼロ※

HEAT DX

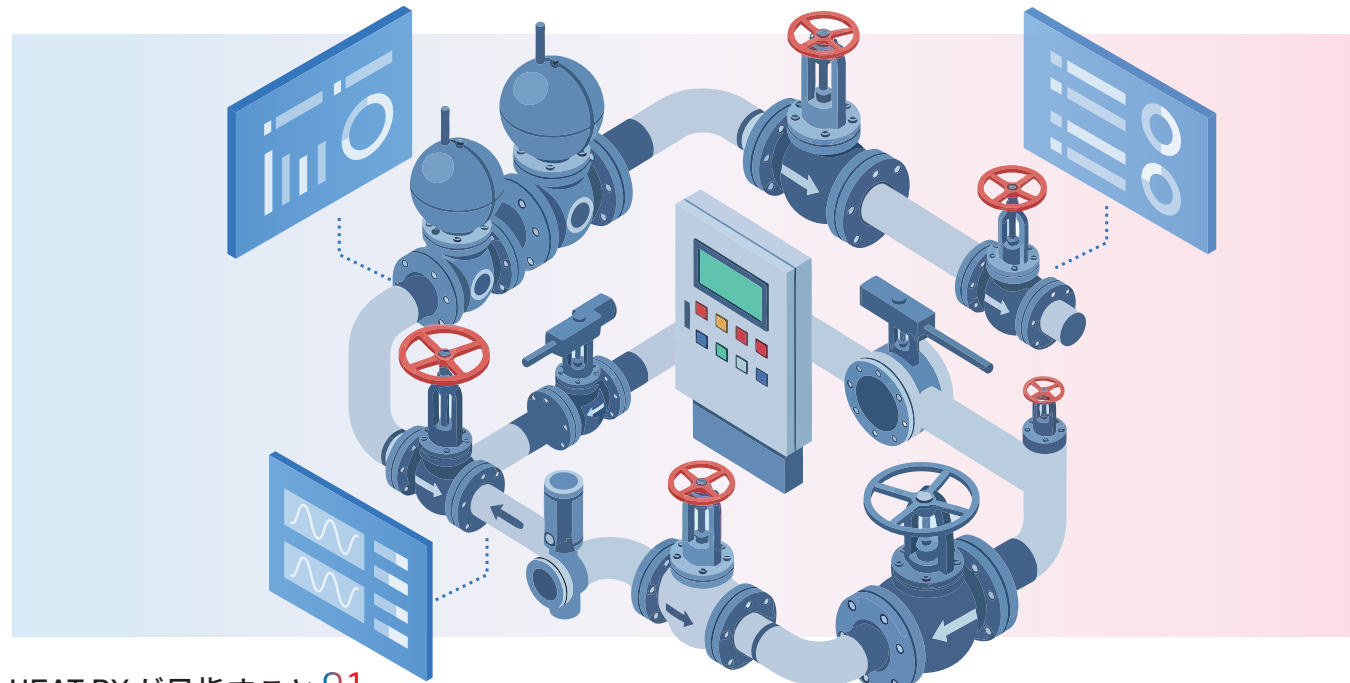
熱源設備の運転・点検・保守をDX化し、
少人数でも安全に運用できる
設備管理体制へ

※当社実績



HEAT DX

HEAT DX は、熱源設備の点検・記録・監視・異常検知をデジタル化し、現場の省人化と保安レベルの向上を支援する設備管理ソリューションです。



HEAT DXが目指すこと01

熟練者の五感をデジタル化

熟練者は、異音・異臭・振動・燃焼状態・表示異常など、複数の情報を総合して設備の状態を判断しています。HEAT DX は、こうした熟練者の「気づき」をデジタル化し、属人化に頼らない異常検知を可能にします。

HEAT DXが目指すこと02

現場に合わせて、 日常点検をシステム化

HEAT DX は、単にカメラやセンサーを設置するだけではありません。点検項目、記録内容、確認者、確認タイミングまで現場に合わせて設計し、日常点検をシステムに組み込みます。



HEAT DXが目指すこと03

ヒューマンエラーを低減し 保安レベルを高める

点検漏れ、記録ミス、異常の見落としをシステムで抑制します。人に頼らない確認体制をつくることで、インフラ運営に求められる安全性を高めます。

HEAT DXが目指すこと04

診断から導入・保守・改善 まで安心一括サポート

大阪駅の大規模熱供給プラントを長年無事故で運営してきたエネルギーサービス事業者として、現場診断、運用設計、機器設置、保守、改善まで一貫して支援いたします。



Q&A

よくあるご質問

Q 既存設備や老朽化した設備にも導入できますか？

A 後付けでも対応できます。既存の設備構成や運用体制を確認したうえで、現場に合わせた導入方法をご提案します。

Q どのような業務の省人化が期待できますか？

A 日常点検、記録作成、異常確認、データ管理などの業務負荷を軽減します。現場状況に応じて、省人化を具体化します。

Q 一般的な監視システムとの違いは何ですか？

A スマート化による省人化、自動運転による高効率化、CBM(最適保守)による修繕費の削減を実現できる点が強みです。